

委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】
実施内容報告書

団体名：NPO法人ABCジャパン

1. 事業の概要

事業名称	外国につながる市民のための日本語教育サポート事業
事業の目的	日本に定住する外国につながる若者と大人、双方が地域で安心して生活し、自信を持って社会参画していけるように、日本語教育を通して彼らの生活・キャリア形成とその基盤づくりを支える。本事業では、若者を対象とした日本語教室、大人向けの生活・子育て・仕事に役立つ日本語講座、生活オリエンテーション、関係機関連携・協力連絡会の4つの取り組みを実施する。取り組みを通じて、外国人市民と地域住民等との交流の場をつくり、外国人市民の現状や日本語教育の必要性等についての理解を促進し、在日外国人コミュニティと密接な関係を持つ当団体を拠点として、行政や他の外国人支援団体、地域住民等と連携することで、地域に根差した活動を目指す。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	横浜市鶴見区は市内第二位の外国人登録数があり、首位の同市中区と比べ出身国・地域が多様で、南米出身者が多く在住している。最近では、日本の学齢期を超えてから来日する若者も増えている。こうした若者たちは日本語力が不十分のまま高校に進学するため、日本語でのコミュニケーションが困難で、友だちを作ったり、アルバイトをするのも難しく、孤立しやすい傾向がある。学校では同郷の友人とつきあい、家では母語で生活し、日本語を使うのは学校での限られた時間だけとなっているので、普通の会話に関して継続的な日本語の学習を行なうことが必要である。 外国人市民については、長年地域内に住んでいる者も多いが、仕事を優先し、日本語を体系的に学ぶ機会が少ないため、日本語レベルは総じて低い。日本語ができないために地域社会のコミュニティに溶け込めない、安定した仕事に就けない、子どもの教育に十分に関われない等の悩みを持つ外国人市民も少なくない。彼らが地域で安心して生活するために、彼らのニーズに合致した日本語教室を設置することが求められている。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	①外国につながる若者が、自分の表現したいことを日本語で伝える力を身につけ、地域で安心して生活し、将来の夢を実現する力を得られるような日本語教室 ②外国人市民が、日本社会で安心して暮らすための情報提供を行いながら、社会参画、子育て、就労に役立つ日本語を学べる日本語教室 ③行政、学校、自治会等と連携し、文化的背景の違いに配慮した多言語対応の外国人市民対象のオリエンテーション ④地域で外国人住民のサポートに関わっている行政、学校、団体等の関係機関が連携し協力体制を築いていくための連絡会 教室やオリエンテーションにおいて、地区センターの館長や資源循環局の職員、地域で様々な活動に携わる日本人等を講師に招くことにより、地域社会に暮らす外国人市民にとって必要な生きた日本語が学べる教室となり、また、外国人市民の抱える課題や日本語教室のあり方についての考えを共有し、今後の支援体制の拡充につなげる。
事業の実施期間	平成28年4月～平成29年3月(12か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	安富祖 美智江	NPO法人ABCジャパン
2	渡辺 裕美子	NPO法人ABCジャパン
3	田村 梨花	上智大学
4	金城 さつき	桜美林大学
5	池 理恵	鶴見区役所
6	横江 美智子	NPO法人ABCジャパン
7		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年5月14日 (水) 18:00～20:00	2時間	ABCジャパン	安富祖、渡辺、田村、金城、池、横江	日本語教室の運営とカリキュラムについて
2	平成28年9月2日 (金) 11:00～13:00	2時間	ABCジャパン	安富祖、渡辺、池、横江	ガイダンス・オリエンテーションの企画について
3	平成29年3月19日 (日) 10:30～12:30	2時間	ABCジャパン	安富祖、渡辺、金城、横江	年度末の総括

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	1996年から多文化共生の取り組みをはじめ、2008年には「多文化まちづくり宣言」を発表するなど、定住化の進む外国人住民に対する支援策を講じてきた鶴見区役所とは、学習支援活動やセミナー・ワークショップ、通訳・翻訳事業等、多文化共生活動において連携を強めてきた。また、地域の外国人市民をサポートする鶴見区国際交流ラウンジとは常に連絡を取り合い、様々な活動において相互に協力体制ができている。他の支援団体、地域ボランティア、小中学校・高等学校とも協働しながら、地域の外国人市民・若者の日本語教育実践へのサポート体制を強化させたい。
------	---

(3)中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本 施 事 業 制 の 実	地域在住のブラジル人コーディネーター①は、地元の外国人コミュニティについて熟知し、多言語での相談対応の実績を持っており、本事業においては、外国人コミュニティとの結びつきを活かし、また当事者としての立場から、生活オリエンテーションや日本語教室の企画面を中心に担う。地域日本語教育コーディネーター②は、これまでに築いた行政や地域の他団体との協力関係と日本語教育の経験を活かして、実際の取組や運営委員会の運営をコーディネートする。①②のコーディネーターは連携をとり、事業を円滑に進める。指導者代表2名は、協力し取組1・2の教育が目標を達成するよう努める。
---------------------------------	--

3. 各取組の報告

＜取組1＞										
取組1	取組の名称		外国につながる若者を対象とした日本語教室							
	取組の目標		・日本語のコミュニケーション能力を向上させ、よりよい就業機会につなげる。 ・自分の体験や経験、見聞きしたこと、自分の考えを伝え、将来の夢を実現する方法を探す。そのために人に相談する力を身につける。 ・日本社会のルールを学び、地域住民としての意識を高める。 ・孤立しがちな若者が、同じような背景をもつ者と出会い、励ましあえる居場所を提供し、前向きに自らの将来と向き合う姿勢を応援する。							
	取組の内容		義務教育年齢を超えてから来日し、高校進学を希望する外国出身の十代後半の若者や、来日して短期間で高校に入学した若者などを対象に日本語指導を受ける機会を提供する。自分の表現したいことを日本語で伝える力を身につけ、日本社会で自ら情報を得る力をつけるために、ニュースや話題になっていることをトピックで取り上げ、情報収集方法や日本社会で生き抜く術等のポイントを学ぶ。また、授業後に相談に乗ったり、話に耳を傾ける機会をつくり、学習に対する意欲を低下させず、目標に向かって進めるように最大限の配慮・工夫する。交流会等にも参加し、社会との接点ができるだけ持つように後押しする。日本社会のルールを学び、地域住民としての意識を高め、孤立しがちな若者が同じような背景を持つ若者同士が出会い、励ましあえる居場所を提供する。							
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
	取組による体制整備		日本語力が十分でないために、同年代の友人を作ったり、アルバイトをするのが難しく、なかなか地域社会にも溶け込めない若者が、自信を持って生活して、自分の将来を築いていけるように、日本語教室を実施する。これまで本教室を卒業した先輩たちが彼らのロールモデルとなり、良い循環ができてきている。今後も将来のキャリアのための指導を行う団体や地域の支援体制につなげる役割を担う。							
	取組による日本語能力の向上		・日本社会で自ら情報を得る力をつけるために、ニュースや話題になっていることをトピックで取り上げ、情報収集方法や日本社会で生き抜く術等のポイントを学ぶ。 ・高校進学や求職時にも役立つ面接練習を行う。型どおりのやりとりの練習だけでなく、自分の良いところを日本語で十分にアピールできるように、辞書を使いながら新しい単語や漢字を学習していく。 ・ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語ができる講師を配置し、授業後に相談に乗ったり、話に耳を傾ける機会をつくり、学習に対する意欲を低下させず、目標に向かって進めるように最大限の配慮・工夫する。 ・区役所やスポーツセンターなど地域内の公的施設の利用方法やゴミのリサイクルなどについて学び、自ら公的サービスを活用する姿勢を身に付ける。							
	参加対象者		主に横浜市鶴見区在住の十代後半の外国につながる若者。鶴見区に多数在住している南米出身の若者たちに加え、近年、新規来日の人数が増えている中国やネパール、フィリピン等出身の若者を対象とする。			参加者数 (内 外国人数)		15人 (15人)		
	広報及び募集方法		ABCジャパンホームページへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行う。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布する。以前からつながりのある高校や地域の日本語教室、学習支援教室に呼びかけたり、コミュニティーへの働きかけを行う。また、本教室の卒業生や保護者から口コミでも宣伝してもらう。							
	開催時間数		総時間 149時間			1回 3時間 × 49回 + 1回(2時間)				
	主な連携・協働先		鶴見区役所、横浜市資源循環局、鶴見国際交流ラウンジ、私立・国立大学、県内の高校他							
開催場所		NPO法人ABCジャパン								
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
		2				1			7	
モザンビーク(3人)、ボリビア(2人)、										
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年6月7日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	4	あいさつ ひらがな	基本的なあいさつの練習。ひらがなあ・か・がの行の読み書き。		渡部、横江	山本、奥山	
2	平成28年6月14日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	5	あいさつ ひらがな	あいさつの復習。ひらがなさ～な行まで。		横江、渡辺	安富祖、奥山	

3	平成28年6月21日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	ひらがな	ひらがなた～わ行・んまで。	渡部、渡辺	山本、奥山
4	平成28年6月28日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	6	自己紹介	自己紹介の口頭練習。	渡部、横江	安富祖、山本
5	平成28年7月5日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	自己紹介 長音・促音等	自己紹介、長音・促音・拗音の読み方、書き方の練習。	渡部、横江	山本、奥山
6	平成28年7月12日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	ひらがな(縦書き)	拗音や促音を縦書きにした時の書き方。読み練習。わからないときの尋ね方など。	横江、渡辺	安富祖、山本
7	平成28年7月19日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	数字の読み方	数字の読み方。0～10、20、30、100、200。	渡部、渡辺	山本、奥山
8	平成28年7月26日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	会話練習、月名・日付けの読み方	月名練習、日にちの読み方練習。いつ日本へ来ましたか？ 8月に来ました。などの練習	渡部、横江	安富祖、山本
9	平成28年8月2日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	6	日付の言い方、カタカナア～ヤ行	日付の言い方。いつ日本へ来たか、誕生日はいつですか、などへの答え方。カタカナの読み書き練習。	渡部、横江	安富祖、奥山
10	平成28年8月23日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	数字・日付の読み方復習、カタカナラ～ン	数字や日付の読み方の違いを覚える口頭練習。カタカナラ～ンの読み書き練習。	渡部、渡辺	安富祖、山本
11	平成28年8月30日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	曜日、日にちの読み練習	曜日の言い方。昨日、今日、明日の使い方。	渡部、横江	安富祖、奥山
12	平成28年9月6日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	カタカナの長音・拗音・促音	カタカナの長音・拗音などの読み書き練習。	横江、渡辺	安富祖、山本
13	平成28年9月13日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	12	カタカナ単語	カタカナだけの単語を読む練習。日付・曜日などの質問に答える練習。	渡部、横江	安富祖、奥山
14	平成28年9月20日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	カタカナ単語、いろいろな国名	いつも会っている人たちの出身国をカタカナで言う。	渡部、渡辺	山本、奥山
15	平成28年9月27日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	自己紹介完成	はじめまして。〇〇です。ブラジルから来ました。12歳です。どうぞよろしくお願いします。	横江、渡辺	安富祖、山本
16	平成28年10月4日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	自己紹介に関連する質問と答え方	おたくはどちらですか。お国はどちらですか。いつ、日本へ来ましたか。などの質問に答えられるようにする。	渡部、横江	安富祖、山本
17	平成28年10月11日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	お金の数え方、大きい数字	お金の数え方～円、～千円、～万円。日にち、月名、国名など復習。	渡部、横江	安富祖、奥山
18	平成28年10月18日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	わたしは～です	わたしは学生です。会社員じゃありません。～ですか？ はい・いいえ での答え方。	横江、渡辺	安富祖、山本
19	平成28年10月25日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	い形容詞	身の回りのものを形容詞を使って言ってみる。	渡部、横江	山本、奥山
20	平成28年11月1日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	カレンダー・時間	カレンダーの日にちを言う。時間の言い方。～時～分。	横江、渡辺	安富祖、山本
21	平成28年11月8日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	西暦の言い方	生年月日の練習。	渡部、渡辺	安富祖、奥山
22	平成28年11月15日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	年の言い方、聞き方	1～10歳、自分の年の言い方。何歳、おいくつなど尋ね方。い形容詞を使う。	横江、渡辺	安富祖、山本
23	平成28年11月22日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	ものの名前の尋ね方	これは何ですか？ はい、～です。いいえ、～ではありません。い形容詞を増やす。	渡部、横江	安富祖、山本
24	平成28年11月29日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	動詞・食べ物・身の回りの語彙	～を食べます・飲みます を使った練習。果物や野菜の名前、電話・はさみなどの語彙。	横江、渡辺	山本、奥山
25	平成28年12月6日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	時間・自己紹介などの復習	～時～分の読み方復習。自己紹介をする練習。	渡部、渡辺	安富祖、奥山
26	平成28年12月13日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	質問と答え方・カタカナの単語	カタカナ単語・い形容詞の語彙を増やす。～を食べますか・飲みますか？ はい、食べます。いいえ、食べません。	渡部、横江	安富祖、山本

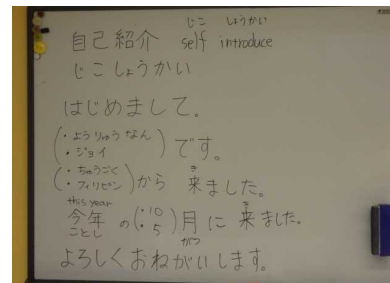
27	平成28年12月20日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	過去形・カタカナ語・ い形容詞	朝・昼・夜ごはん 食べました、飲みま したの言葉を使って、自分のことを話 す。	渡部、渡辺	山本、奥山
28	平成29年1月5日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	場所の言い方	ここ・そこ・あそこ・どこ こちら・そち ら・あちら・どちら を使って話をする。	渡部、横江	安富祖、山本
29	平成29年1月10日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	今週・先週・来週の 使い方	今朝、～を食べました。などの言い 方。	横江、渡辺	安富祖、山本
30	平成29年1月12日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	～から～まで 時間 の言い方、動詞	～時から～時まで勉強します、寝ま す、仕事します を使って自分のこと を話す。	渡部、横江	安富祖、奥山
31	平成29年1月17日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	13	～時に～します。し ました。	します／しません、しました／しませ んでした を使って過去・現在のことを 話す。	渡部、渡辺	安富祖、山本
32	平成29年1月19日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	右・左の使い方	目・手などどくつつけて、右目・左目、 右手・左手と使う。	横江、渡辺	山本、奥山
33	平成29年1月24日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	(場所)へ行きます。	(場所)へ(手段)で(人)と行きます。 家へ帰ります。場所や手段の語彙。	渡部、横江	安富祖、山本
34	平成29年1月26日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	身の回りのことの話 すための語彙	数え方・単位の確認。	渡部、渡辺	山本、奥山
35	平成29年1月31日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	～を～ます。	～を～ますか？ はい／いいえで答 える。「それから」で分を接続する。	渡部、横江	安富祖、山本
36	平成29年2月2日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	自分の国や町を紹 介する	自分の出身国・町の紹介をする。語 彙を増やす。	渡部、横江	安富祖、山本
37	平成29年2月7日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	14	～時間 (手段・道 具)で～を～します。	箸でラーメンを食べます。などの言い 方。ナイフ、フォークなどの語彙。	渡部、渡辺	安富祖、山本
38	平成29年2月8日 (水) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	あげます／もらいま すの言い方	あげます／もらいます、教えます／習 います、貸します／借ります 図書館 で本を借ります。	横江、渡辺	安富祖、山本
39	平成29年2月9日 (木) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	(人)にあげます／も らいます	どこで習いましたか？ アメリカで習い ました。場所、国名のカタカナ語の練 習。	渡部、横江	安富祖、奥山
40	平成29年2月10日 (金) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	もう～しましたか。	経験を尋ねる言い方の練習。	渡部、渡辺	安富祖、山本
41	平成29年2月11日 (金) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	14	面接練習	高校入試などに役立つ面接の練習	井草	
42	平成29年2月13日 (月) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	～時間の使い方。自 分の家族の呼び方。	今日、2時間勉強しました。父、母、祖 父、祖母などの呼び方。	渡部、横江	山本、奥山
43	平成29年2月14日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	い形容詞・な形容詞	形容詞の否定・過去・過去否定	横江、渡辺	安富祖、奥山
44	平成29年2月20日 (月) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	12	～時間、～か月 ど うですか？	どうですか？ に対する答え方。形容 詞で答える。	渡部、渡辺	山本、奥山
45	平成29年2月21日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	毎日～勉強します。 ～に置きます／寝ま す	毎日、3時間勉強します。8時に起き ました／寝ました。	渡部、横江	安富祖、奥山

46	平成29年2月28日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	雑誌やチラシなどの 情報を読み取る。	雑誌やチラシを見て、必要な情報を読み取れるかどうか。	渡部、横江	安富祖、山本
47	平成29年3月4日 (土) 14:00～16:00	2	ABCジャパン	25	お金の使い方	お金の使い方、お小遣いの管理について	渡部	
48	平成29年3月7日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	作文の書き方	原稿用紙の使い方。作文のテーマと流れを考える。	横江、渡辺	安富祖、奥山
49	平成29年3月14日 (火) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	14	作文	日本に来てから今までの生活について。関連語彙を学習。	渡部、渡辺	山本、奥山
50	平成29年3月19日 (日) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	15	作文	修了式で、自分の書いた作文を読み上げる。	渡部、横江	安富祖、奥山

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第16回 28年10月4日】 自己紹介に関連する質問と答え方
初対面の人へのあいさつ、出身地、年齢、などをみんなの前で言えるようにする。
さらに、相手の人に「お国はどちらですか?」「何歳ですか?」「いつ日本へ来ましたか?」
などと質問し、知りたい情報を得ることができるように会話練習。



○取組事例②

【第30回 29年1月12日】 ～から～まで 時間の言い方、動詞
～時から～時まで勉強します、寝ます、仕事します を使って自分のことを話す。
一人一人が毎日の生活について発表する。



(2) 目標の達成状況・成果

入室してくる時期にバラつきがあり、日本語のレベルもまったくゼロの受講生から、多少は学んだことのある受講生までいろいろだったが、復習の意味からも、全体でベーシックからスタートすることとなった。
日本語でのコミュニケーションの力をつけて、高校進学や求職時にも役立つような面接練習も行い、また、受講生が興味を持つようなニュースや記事などをトピックとして取り上げ、自ら情報を得る力をつけるための練習を積み重ねた。

(3) 今後の改善点について

ひと通り日本語文法の基礎や表現を学んだあとも、実際に日本語を運用する力をつけるためには、積極的に日本語を使う必要があるが、なかなかそうした機会が持てないので、少しでも日本人と交流できる場づくりが必要になる。
自分の住む地域の中で、安心して自信を持って生活できるように、さらに実践的な学びができる教室にしていきたい。

<取組2>

取組2

取組の名称		外国人市民のための生活・子育て・仕事に役立つ日本語講座						
取組の目標		・日常生活や職場、子育て等の場面において欠かせない日本語表現を習得し、地域で安心して生活できるようにする。 ・日本語学習や地域交流を通じて社会のルールを学び、地域住民としての意識を高め、社会参画を促進する。						
取組の内容		これまで、日本語を体系的に学ぶ機会が少なく、職場や家庭で日本語を使う機会も少ないため、日本語の定着が難しかった外国人市民を対象とした日本語教室。日常生活や子育て、仕事等で用いられる語彙や表現を学び、地域社会に対する理解を深め、積極的にまわりと関わるためのコミュニケーション能力の向上を主目的とする。 教室は、非漢字圏出身者への日本語教育の経験も有する講師が担当。受講生が日々疑問に感じている日本語表現や日本の諸制度については、適宜授業のトピックとして取り上げ、関連表現を学ぶ。教材も、日常生活で応用できるように工夫し、必要に応じて生活相談・情報提供に対応する。						
	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
□組による体制整備		講師に、地区センターの館長や地域で日本語や日本文化を教えている方等を講師に招いて、地域社会・日常生活のルールや行政のサービス、仕事で使われる日本語について学ぶことで、地区センターや地域の方々に外国人市民の現状や課題を知ってもらい、また同時に、相談窓口の言語サービスの拡充や支援体制の強化を促すことにつなげる。						
取組による日本語能力の向上		・日常生活、職場、就職活動、子育て、学校とのやり取り等に活用できる実践的な内容を学び、コミュニケーション能力を身に付ける。 ・受講生が日々疑問に感じている日本語表現や日本の諸制度についてトピックとして取り上げ、関連表現を学ぶ。 ・教室の外での体験実習を実施し、体験を通じて日本語を体得する機会を企画する。						
参加対象者		鶴見区内に在住する南米出身の外国人住民(ブラジル、ペルー、ボリビア、アルゼンチン)の他、近年増加傾向にある中国やネパール、フィリピン出身者等			参加者数 (内 外国人数)		15人 (15人)	
広報及び募集方法		ABCジャパンホームページ・フリーペーパーへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行う。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布する。						
開催時間数		総時間65時間			1回 3時間 × 21回 + 1回(2時間)			
主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見区地区センター、鶴見国際交流ラウンジ、地域の日本語教室						
開催場所		NPO法人ABCジャパン						
参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
								8
	ボリビア(3人)、ペルー(1人)							

実施内容								
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年6月4日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	あいさつ、マナー	会う頻度によって言葉が違ふあいさつ／お箸の正しい持ち方／やってはいけないお箸のマナー	横江、渡部	安富祖、奥山
2	平成28年6月11日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	鶴見川クリーンキャンペーン参加	鶴見川周辺の刈ってある草を地域の人たちと一緒に回収	横江、渡辺	安富祖、奥山
3	平成28年6月18日 (土) 10:00～12:00	2	ABCジャパン	10	マナーについて	日本での対人マナーについて学ぶ	横江	
4	平成28年7月2日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	いつも使い方に困る日本語の表現	「女の人」と「女性」の使い分け／保育園を休むときの言い方／漢字の書き方 基本とコツ	横江、渡部	安富祖、奥山
5	平成28年7月16日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	6	漢字(住所、名前、家族の名前)	書き順どおりに書くと、上手にきれいに書ける／「ちょっと」を使った断り方	横江、渡辺	安富祖、奥山
6	平成28年7月30日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	自動詞と他動詞	肉を焼きました・肉が焼けましたの違い	横江、渡部	安富祖、奥山
7	平成28年9月3日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	夏休みの報告、校歌・国歌・社歌	夏休みに何をしたか。日本語で報告／校歌、国歌、社歌について／外来語について	横江、渡辺	安富祖、奥山
8	平成28年9月17日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	会社を休むとき・遅れるときの電話連絡	メモを見ながら電話する／子どもの欠席を学校に伝える	横江、渡部	安富祖、奥山
9	平成28年10月1日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	6	緊急時の電話	110番、119番への電話の仕方	横江、渡辺	安富祖、奥山
10	平成28年10月15日 (土) 10:00～13:00	3	入船公園	8	つまみ臨海フェスティバルに参加	日本語を使って物品販売、接客、アクセサリーワークショップ	横江、渡部	安富祖、奥山
11	平成28年11月5日 (土) 10:00～13:00	3	潮田地区センター	13	栄養教室・日本食クッキング	栄養の話：ひとり分の量、主菜、副菜、主食など／やさしい日本語で料理教室	板垣、横江、渡辺	安富祖、奥山
12	平成28年11月17日 (木) 18:00～20:00	3	潮田地区センター	13	教育について	学校教育、子育て、子どもの心理などについて	井手口セシリア	
13	平成28年11月19日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	今日、今週、今月、今年	漢字：今、日、月、年／学校の書類の言葉：意味とキーワード	横江、渡部	安富祖、奥山
14	平成28年12月3日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	お正月のあいさつ	日本のお正月と、年賀状でのあいさつについて。年末は「よいお年を」年明けは「あけまして～」。	横江、渡辺	安富祖、奥山
15	平成28年12月17日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	洗濯の新しい表示	洗濯に関する言葉：洗濯、漂白、脱水、乾燥、洗濯物を干す／漂白剤の種類：酸素系、塩素系	横江、渡部	安富祖、奥山
16	平成28年12月22日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	7	年賀状を書こう	あて名の書き方。表には正月のあいさつや絵を描く。ポストの年賀状の出す口について。	横江、渡辺	安富祖、奥山
17	平成29年1月21日 (土) 10:00～13:00	3	中央コミュニティハウス	12	大学進学ガイダンス	大学進学ガイダンスに参加／進学関係の表現について／日本語でアンケートに記入	横江、渡部	安富祖、奥山
18	平成29年2月4日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	11	ことわざ、日本の歌	夫婦喧嘩は犬も食わない／修了式の出し物「恋」の歌詞に出てくる言葉	横江、渡辺	安富祖、奥山
19	平成29年2月18日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	8	病気の名前	変形性関節症、骨粗鬆症、腰椎圧迫骨折など	横江、渡部	安富祖、奥山
20	平成29年3月11日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	9	薬に関する日本語	薬の種類。薬の飲み方(食前・食間・食後)、処方せんなどの言葉。市販の薬についての知識など。	横江、渡辺	安富祖、奥山
21	平成29年3月18日 (土) 10:00～13:00	3	ABCジャパン	10	作文	修了式で読む作文の書き方／歌の練習	横江、渡部	安富祖、奥山
22	平成29年3月19日 (日) 10:00～13:00	3	中央コミュニティハウス	12	修了式・発表会	修了式。「海の声」の合唱、今回の教室について感想を発表。	横江、渡辺	安富祖、奥山

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第3回 28年7月2日】使い方に困る日本語の表現とふだんのあいさつ

①受講生から、日本語を話すときに使い方に困る表現を出してもらい、一つ一つ確認し、使い方を練習する。

- ・「女の人」と「女性」はどう使い分ける？
- ・近所の人に「いってらっしゃい」と言われたときの答え方は？
- ・保育園を休むときの言い方は？(注意:自分の子どもに君・ちゃんはつけない)

②ふだんのあいさつ

- ・朝から仕事に行き帰るまでのあいさつ。お疲れ様です(でした) / お先に失礼します など
- ・宅配便の人、タクシー、バスでのあいさつ。お世話さまです / ありがとうございました
- ・学校で先生にあいさつ。いつも娘(息子)がお世話になっております。

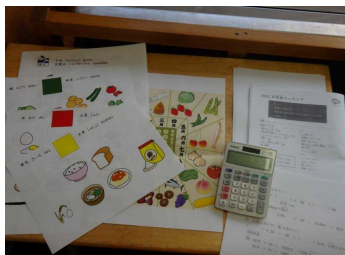


○取組事例②

【第10回 28年11月5日】栄養教室・日本食クッキング

栄養と健康について、栄養士によるやさしい日本語でのレクチャーとそれに関連した料理教室を実施した。

- ・ひとり分の食事の量、主菜、副菜、主食など
- ・料理の仕方、台所用品、材料の測り方や健康に関する表現も一緒に学ぶ
- ・健康的で、旬の食材を使った日本食の料理教室



(2) 目標の達成状況・成果

日常生活で日本語は耳にしているが、学校などで体系的に日本語を学んだ経験がなく、職場でも家庭でも日本語を使う機会が少ない受講生を対象に、積極的にまわりと関わるためのコミュニケーション能力の向上を目的とした日本語教室を開催した。

受講生がふだんから疑問に感じていたり、使い方に困っている日本語表現を取り上げたり、職場や学校などでよく使う表現などをトピックにすることで、受講生が興味を持って学習を続けられるように工夫した。

(3) 今後の改善点について

仕事が忙しかったり、小さい子どもを抱えていたりする受講生が多いため、毎回きちんと授業に参加するのは難しい。また、職場や家庭でも日本語に触れる機会が少なく、話したり聞いたりするケースもあまりないため、せっかく覚えた表現なども実際に使うチャンスが持てない場合が多い。

今後も、クリーンキャンペーンや臨海フェスティバルのような地域のイベントにも積極的に参加するようにして、日本語を使う機会を増やす工夫をしていきたい。

<取組3>

取組3

取組の名称		外国人市民のための生活オリエンテーション							
取組の目標		・外国人住民の生活の質向上を目的としたオリエンテーションの実施を通して日本語教育の必要性を理解してもらう ・参加する支援者と学習者の意見交換の場を創出することで教室の体制やあり方を住民が共に構築する ・地域内で外国人支援に係わる関係団体・機関の協働のきっかけづくりとする							
取組の内容		外国人住民は、日本語のコミュニケーションが困難だけでなく、日本の諸制度についての知識や理解が十分でなため情報弱者におかれがちである。定住化が進んでいるが、日本で安心・安全な生活を送るためには、多言語で内容も文化的背景の違いに配慮した内容でオリエンテーションを実施することが効果的である。 テーマについては、学習者がもっとも関心のある子どもの教育に関するものを複数取り上げるほか、法律、税金など、外国人住民に役立つ内容を吟味し、専門の講師に依頼し、生活の質を向上させるような内容でオリエンテーションを実施する。							
	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
☐	取組による体制整備	長年日本に住んでいても仕事や子育て等で忙しく、体系的に日本語を学ぶ機会がなかなか持てなかった外国人市民や若者に対して、地域で安心して生活を送るためにに必要な情報を提供する。オリエンテーションへ通して、取組1、2の日本語教室への参加につなげ、日本語学習の動機付けを図る。税理士事務所や地域で様々な活動に携わる日本人を講師に招くことにより、外国人に対する適切な情報提供や、多言語対応、日本語教育の必要性等を理解してもらう。							
	取組による日本語能力の向上	・やさしい日本語と多言語を使って、日本の諸制度や教育、税金、教育等についての情報を提供する。 ・日本で生活していく上で必須の日本語表現、語彙等を学びながら、生活の質を向上させるオリエンテーションを実施							
参加対象者		・日本語教室参加者および区内在住外国人 ・多文化共生・外国人支援にかかわる支援団体、ボランティア				参加者数 (内 外国人数)		30人 (15人)	
広報及び募集方法		ABCジャパンホームページ・フリーペーパーへの広告掲載、Facebookでの情報掲示を行う。地域内の関連企業や店舗、鶴見国際交流ラウンジ、区役所関連部署窓口などにポスターを掲示し、チラシを配布する。							
開催時間数		総時間 12時間				1回 3時間 × 4回			
主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、鶴見区地区センター、他の外国人支援団体等							
開催場所		NPO法人ABCジャパンおよび鶴見国際交流ラウンジ							
参加者の出身・国別内訳 (人数)	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
	25		8		8			82	
	ボリビア(11人)、ペルー(8人)、日本人(24人)								
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成28年10月1日 (土) 13:30～16:30	3	中央コミュニティハウス	52	高校進学ガイダンス	外国につながる子どもとその保護者を対象に、高校入学システムのガイダンスと相談会。		高橋清樹	なし
2	平成28年10月22日 (土) 9:30～12:30	3	サルビア・音楽ホール	47	多文化教育フォーラム	外国につながる子どもたちの教育について考えるフォーラム		横江美智子	なし
3	平成29年1月21日 (土) 10:30～13:30	3	中央コミュニティハウス	35	大学進学ガイダンス	外国につながる子どもとその保護者を対象に、大学入学システムの説明、新たな制度のガイダンスと相談会		渡辺裕美子	なし
4	平成29年3月4日 (土) 10:30～13:30	3	ABCジャパン	32	親と子のための栄養教室	外国につながる子どもとその保護者のためのやさしい日本語による栄養と健康の教室。		板垣香織	なし

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第2回 28年10月22日】

外国につながる子どもたちの教育について様々な角度から考えるフォーラム。鶴見区で開催されたイベント「ブラジルWEEK in つるみ」の一環として、外国につながるのある児童生徒への支援にかかわる教員や支援団体、当事者である若者、専門家等によるフォーラムを実施。外国人市民が数多く暮らし、外国につながるのある児童生徒への支援の先進地域である神奈川県から、県内の現状や取り組みを伝え、多文化教育について共に考え、文化的多様性に配慮した柔軟な発達への支援のあり方について来場者と共に考える貴重な機会となった。



○取組事例②

【第3回 29年1月21日】

外国につながる子どもとその保護者を対象に、大学入試についてのガイダンスを開催。各国語の通訳をつけて、受験対策、学校選び、学費、入試のシステムなどについてわかりやすく丁寧に説明。受験直前になってからでは準備が間に合わないので、高校生だけでなく中学生とその保護者にも積極的に参加を呼びかけた。新たに作成した3カ国語(ポルトガル語、英語、中国語)対応の大学進学ガイドブックも配布。現在、大学・大学院に通う外国につながる若者も先輩として体験談を発表し、参加者に強い印象を残していた。



(2) 目標の達成状況・成果

今年で7回目の開催となる高校・大学進学ガイダンスは、すっかり地域の行事として定着し、参加者も増えている。特に、大学進学について、外国人を対象としたガイダンスは他ではあまり行われておらず、今回は新しく多言語版のガイドブックを作成・配布したことで、よりわかりやすくなったという評価が多く見られた。

親子を対象とした栄養教室は初めての試みであったが、ふだんは仕事等で忙しく、毎日の食事が大切であることは知りながらも、食べ物と健康について家で話をしたり、学んだりする機会がなかなか持てなかった親子が、同じ教室で共に学ぶことができる貴重な教室となった。

(3) 今後の改善点について

情報弱者になりがちな外国につながる市民に対し、より良い生活のためのセミナーを今後も積極的に行っていきたい。子どもの進学や栄養などに関心を持ち、ふだんから意識をしている市民だけでなく、さまざまな問題を抱えながらもどこかに相談に行ったり、調べたりができない人たちに対して情報が届くように、広報や情報発信にさらに力を入れる必要がある。

<取組4>

取組4	取組の名称		関係機関連携・協力連絡会							
	取組の目標		・外国人市民の生活支援に関わる団体間の情報共有、連携の検討 ・課題解決のための取り組みの企画・実施のための協働の体制づくり ・地域住民、行政等が連携した外国人市民の社会参画の機会創出							
	取組の内容		外国人のサポートを行っている行政、学校、団体（以下に記載）の支援者が一同に会し、地域内でのさまざまな問題・課題について情報共有・情報交換を行い、外国人市民を取り巻く現状と課題について異なる立場で関わる関係者間で議論することにより外国人の日本語学習環境上の課題について共通認識を持ち、課題解決のためのアイデアや具体的な取り組みの実施につなげることを目的とする。また地域の中での外国人市民の社会参画の在り方などについても検討する。							
	☐ 空白地域を含む場合、空白地域での活動									
	取組による体制整備		外国人市民への支援にかかわっている団体、行政、学校、地域市民、当事者である外国人市民が、それぞれの場から問題・課題を提起し、情報を共有する。課題解決のための取り組みを企画し、行政への外国人コミュニティとの連携のあり方・支援方法への提言も合わせて、提示できるようにする。							
	☐ 取組による日本語能力の向上									
	参加対象者		鶴見区地域振興課、鶴見国際交流ラウンジ、学校教員など				参加者数 (内 外国人数)		20人 (10人)	
	広報及び募集方法		鶴見区役所や鶴見国際交流ラウンジ、本団体が把握している機関等に広く呼びかける。							
	開催時間数		総時間 4時間		1回 2時間 × 2回(2か所)					
	主な連携・協働先		鶴見区役所、鶴見国際交流ラウンジ、地域の小中学校・高校他							
	開催場所		NPO法人ABCジャパンおよび鶴見国際交流ラウンジ							
	参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
										4人
		ボリビア(1人)、日本人(9人)								
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成28年8月23日 (火) 17:00～19:00	2	ABCジャパン	8	外国につながる家族への包括的支援	外国につながる子どもと家族の包括的サポートについて考える		なし	なし	
2	平成29年2月23日 (木) 17:00～19:00	2	ABCジャパン	6	外国人市民の社会参画の在り方について	日本に暮らす外国人市民がどのように社会に関わっていけるかを考える		なし	なし	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 28年8月23日】

外国につながる子どもの支援を考える場合、当然対象となるのは子どもだけではなく、親や家族を含めて包括的にサポートをしていく必要がある。外国人市民の支援団体やメンバーが集まり、外国につながる子どもとその家族を地域や学校、行政、外部機関等と連携しながら支援するための課題や解決策について意見交換・情報交換を行なった。



○取組事例②

【第2回 29年2月23日】

外国人市民を取り巻く現状と課題について、当事者と支援者がそれぞれの立場から話し合い、地域に暮らす外国人市民の社会参画の在り方や日本語学習の必要性について意見交換を行い、日本人と外国人市民との交流や社会参画の在り方について意見交換を行なった。



(2) 目標の達成状況・成果

鶴見区の特に南米出身者コミュニティにおいて中心的役割を担っている当団体では、外国人市民のサポートに携わっている他の団体とさまざまな情報を共有し、連携しながら支援を進めることができた。

より外国人市民の立場に立った取組を行うために、地域住民や行政ともさらに連携・協力を強めながら活動していきたい。

(3) 今後の改善点について

鶴見区という地域の特性もあり、ブラジルを中心とした南米系コミュニティについては、その課題やニーズもかなり把握できているが、他の外国人市民向けにもさらに情報発信し、日本語教室やイベント、ワークショップの紹介を行なっていきたい。

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

日本に定住する外国につながる若者と大人、双方が地域で安心して生活し、自信を持って社会参画していけるように、日本語教育を通して彼らの生活・キャリア形成とその基盤づくりを支える。本事業では、若者を対象とした日本語教室、大人向けの生活・子育て・仕事に役立つ日本語講座、生活オリエンテーション、関係機関連携・協力連絡会の4つの取り組みを実施する。取り組みを通じて、外国人市民と地域住民等との交流の場をつくり、外国人市民の現状や日本語教育の必要性等についての理解を促進し、在日外国人コミュニティと密接な関係を持つ当団体を拠点として、行政や他の外国人支援団体、地域住民等と連携することで、地域に根差した活動を目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語教室では、外国につながる市民と若者が、日本社会で安心して自信を持って生活し、自己表現ができるような力を身につけ、社会参画につながる日本語を学べる教室を行うことができた。
今年で7年目の開催となる「外国につながる子どもと保護者のための高校・大学進学ガイダンス」では、日本の学校制度・入試の仕組み、学校選びのアドバイス、学費や奨学金等について情報を提供し、大学進学ガイダンスにおいては、新たに多言語によるガイドブックを作成・配布したことで、より理解しやすいガイダンスとなった。
外国人市民の支援に関わる関係機関や団体との連絡会を重ねることによって、地域住民と外国人市民との相互理解のためのより良い環境づくり・仕組みづくりに向けて、活動することができた。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

多文化教育フォーラムの実施や、地域関係者との連絡会を通して、より包括的に外国人市民の社会参画や日本語教育の必要性等について考えられるようになった。

(4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

日本語教室や進学ガイダンス、栄養教室等、その情報を一番必要としている市民に届くようにSNS等のツールを最大限に利用して、周知・広報に努めた。その結果、鶴見区近隣だけではなく、神奈川県内の他地域からも多数の問い合わせがあり、参加があった。
国際交流ラウンジや行政担当者に対し、外国人市民のための日本語教室の重要性について伝え、その成果も見てもらうように尽力した。

(6) 改善点、今後の課題について

当団体の基盤でもあるブラジルを中心とした南米出身者のネットワークだけでなく、中国やフィリピン、ネパールなどのコミュニティへの情報発信も行いながら、外国人市民が安心して暮らしていけるようなベース作りを継続させていきたい。今年度作成した多言語版大学進学ガイドブックのような、外国人市民のニーズに沿った情報を提供しながら、地域における日本語教育の体制整備を進めていきたい。

(7) その他参考資料

※別紙参照